

みちしるべ

第128号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議

市では、同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消に向けて、教育・啓発に取り組んでいます。今回は、8月に開催しました「同和教育講演会」と、さまざまな人権問題をテーマに年4回シリーズで開催しています「人権・同和教育基礎講座」の様子を紹介します。

第47回出雲市同和教育講演会

8月23日、出雲市民会館で、「浪速部落の歴史」編纂委員会事務局長の渡邊 実さんをお迎えし、「みんなが幸せに生きていくために『浪速の歴史と産業』」と題して講演をいただきました。

大阪における太鼓づくりなど皮革産業にかかわる人の差別の実態や歴史を通して、「いのち」の大切さや太鼓づくりにかわる人の尊さに気づいてほしいという話に、約1,000人の参加者の皆さんは熱心に聞き入りま

した。

渡邊さんは講演の中で、

「太鼓づくりはいのちの大切さだと思ふ。太鼓は、牛という動物のいのちをいただいて、太鼓の胴は、何百年という自然の木の生をいただいて作られている。そのいただきたいのちを、人間のあつたかさで作っているから太鼓は感動するのかなと思ふ。そしてできあがった太鼓は国の重要文化財になっている。太鼓をたたいている人は人間国宝になっている。しかし、太鼓



を作っている人はなぜ人から尊敬されないのか。『太鼓作っているから結婚できない。』と結婚を反対されたりする現実もある。生まれがどこであろうと、どんな仕事をしていようと、みんないのちの重さは一緒。そんなことで人を判断してはいけない。太鼓づくりを通して、みんな同じいのちの重さだということを感じてもらえたらいいと思う。」と熱く語られました。

第3回

とき 1月10日(土) 9:30~11:30

ところ 市役所 くにびき大ホール

講師 竹田和彦さん
(株)タケダ造園 代表取締役

かげやま こうじ
影山晃司さん
(株)影山呉服店 代表取締役

演題 「光をあてる経営～皆が輝く職場へ～」

社員の働きやすい環境を作ることがお客様満足と地域貢献につながると考え、社内の環境改善や人材育成などに取り組んでおられる若手経営者のお二人の取組を紹介します。

人権・同和教育
基礎講座予定



竹田和彦さん



影山晃司さん

人権・同和教育基礎講座

第1回 9月6日(土)

性的な暴力を受けた人の心身の回復を支援する任意団体「しまね性暴力被害者支援センターさひめ」を発足して支援活動に取り組んでおられる河野美江さんを講師に招き、「性暴力被害者支援について」と題して講演をしていただきました。

デートDV、性暴力被害などの現状やその対応の仕方について、実例を交えながらわかりやすくお話ししていただき、お互いの人権を大切にしたい男女の付き合いについて改めて考えるよい機会となりました。

〔参加者の声〕

●身近な地域での実例や取組について紹介いただき、貴重なお話をたくさん聞くことができました。参加してよかったです。年頃の子どもがいるので、今日のお話を伝えたいと思います。被害にあわない方が良いですが、被害にあった時、知人が被害にあった時に、適切な対応ができる親子にな

りたいと思います。(40代女性)

●性暴力被害の状況や対応、体制など総括的な話を聞き、参考になりました。被害者のこころの傷は大変なものと感じました。最近のスマホの落とし穴もこうした性暴力被害につながるおそれもあり、こうした講演、研修の場が大切だと思います。(60代男性)

●平等な関係を保つには、コミュニケーションが必要。相手とコミュニケーションをとろうとする努力は、相手を大切にするとその実践なのだ(50代男性)と理解できました。

第2回 10月4日(土)

滋賀県から石井眞澄さん、千晶さん夫婦を講師に招き、「部落差別と向き合う私たち」と題して講演をしていただきました。

同和地区で育った千晶さんと、以前、同和地区出身者と付き合っていたときに両親の反対に遭った経験のある眞澄さん、現在は、眞澄さんの両親も人権教育をとおして意識も変わり、幸せな夫婦生活を送っておられますが、それまでにはさまざまな困難を乗り越えてこられました。

石井さんは、「人の痛み、相手の気持ちかわからないことには、これは間違っているとかこれは正しいとか判断できないと思う。人権学習をとおして、正しいこと・間違っていることに気づくことで、アドバイスしたり周りを助けることもできる。人間は一人じゃない。コミュニケーションをとることで助けってもらえ

ることもある。自分の信頼できる人をたくさん作っていけたらなと思う。」と話され、人権教育の大切さや、これからの行動のヒントになることを学ぶことができました。



第4回

とき 2月4日(水) 13:30~15:30

ところ 市役所 くにびき大ホール

講師 岡本工介さん

(環境教育事務所「コミュニティ・オブ・トリーズ」主宰)

演題 「差別をなくす から 手をつなぐへ」



同和地区というルーツで生まれ、十数年にわたる旅の中でネイティブアメリカンとの生活や黒人解放運動の地への旅等を経験。故郷に持ち帰ったキーワード「Community Of Trees(雑木林が育つ森(地域)を創造する)」を形にするため、人権のまちづくりの実践、講演活動や人間関係トレーニング、企業研修、自然と人をつなぐインタープリテーション等幅広く活動しておられます。